

令和元年 8 月 13 日

議長 梅村 均 殿

岩倉市議会 宮川 隆

第 24 回政溪セミナー（報告）

このことについて、下記のとおり実施しましたので報告いたします。

記

1 実施日 令和元年 7 月 26 日（金）27 日（土）

2 日 程 別紙

3 出席人数及び氏名

		宮川 隆
--	--	------

4 復命事項

別紙のとおり

日 時 令和元年 7 月 26 日（金） 12 : 00～27 日（土） 15 : 15

会 場 日本青年館ホテル 8 階会議室

参 加 者 （別紙）

主催団体 政溪セミナー実行委員会

テ ー マ 「住民主体の地方自治を進めるために」

## 第 1 講義

「被災自治体からの提言・熊本地震の経験から」

熊本市長 大西 一史

熊本の震災から 3 年 3 か月が過ぎた。この間多くの皆様にご心配、ご支援をいただいたことに感謝が述べられた。

死者 87 名・重傷者 764 名・家屋被害 136,403 件・被害総額 1 兆 6 千億円以上  
死者 87 名の内直接死は 2 名であり、残り 85 名は関連死である点を踏まえ、  
熊本市での具体的事例を示し、そのうえで講じられた対策が述べられた。

## 第 2 講義

「女性の視点を生かした災害に強い地域づくり」

静岡大学教育学部教授

同 防災総合センター兼任教員 池田 恵子

東北・熊本の震災に留まらず、昨年の西日本豪雨で得られた事例を基に、多様な人がいる割に配慮に欠けている避難の在り方、避難形態を女性の視点を取り入れることで長期化する避難所生活の中での被害の拡大を示す提案が多くなされた。

「防災ワークショップ」

講師 池田 恵子

避難所生活で実際に起こった事例を基に 5～6 人のグループにより問題点の洗い出しと事前に準備すべき対策を話し合い、発表・評価が行われた。

### 第3講義

#### 「災害大国ニッポン、体験的防災論」

常任教師・東北福祉大学特任教授 福岡 政行

東日本大震災から8年がたち、現在も続く学生を中心としたボランティア活動の実情と課題について実例を挙げて紹介と問題を投げかけられた。併せて、岐阜県と共同で進めている「シルバー食堂」の紹介がなされた。

### 第4講義

#### 「男女共同参画と地方自治」

昭和大学理事長・総長 坂東 真理子

ジェンダーギャップ指数を基に世界基準の女性の社会進出（政策・経済活動等）が、いかに大切であるかを多くのデータにより今後の課題が示された。

### 第5講義

#### 「真の地方創生と地方自治」

早稲田大学大学院政治学研究科教授 片山 善博

島根県知事時代の行政運営の経験を基に、地方の視点から中央省庁の課題を示し、「地方創生」を点検することで真の地域課題や地方議会の要諦を提議し自ら考え実践することの大切さを示された。

以上